



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月9日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL) 075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	7,642	1.2	364	130.2	139	—	52	—
27年12月期第3四半期	7,550	1.8	158	—	△96	—	△6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	4.75	—
27年12月期第3四半期	△0.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	18,236	1,832	10.0
27年12月期	18,845	1,813	9.6

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,832百万円 27年12月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	3.00	3.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,450	△2.9	440	△21.7	150	△11.0	160	—	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	11,091,400株	27年12月期	11,091,400株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	61,394株	27年12月期	61,390株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	11,030,008株	27年12月期3Q	10,327,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の停滞、企業景況感の下振れ懸念、また中国をはじめ新興国経済の減速やイギリスのEU離脱問題がもたらす世界経済への影響等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましては、訪日外国人旅行者動向に変化の兆しがあるものの、国内個人、団体ともに顕著に推移し、宿泊需要は好調を維持しました。一方、宴会・レストラン需要につきましては、不透明な景況感とあいまって足踏み状態が続いております。

このような環境下、当社におきましては資産価値の維持向上、競争力強化を図るべく客室を中心とした改装等設備投資を進めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,642百万円（前年同期比92百万円増）となりました。一方、収益面におきましては、引き続き原価管理、経費削減に努めました。また、不採算部門の閉鎖により収益性が改善したことに加え、増収効果もあり、営業利益は364百万円（前年同期比205百万円増）、経常利益は139百万円（前年同期は経常損失96百万円）となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

#### (宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊部門は、国内個人や団体の客室販売単価の上昇により、売上高は前年同期比83百万円増となりました。

からすま京都ホテルにおきましては、国内旅行会社経由の団体・個人客が好調に推移したことに加え、客室改装による販売単価の上昇もあいまって、売上高は前年同期比61百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は2,558百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

#### (宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、件数、人数共に前年を大きく上回りました。また、一般宴会におきましても件数と単価が伸びたことにより、合計の売上高は前年同期比163百万円増となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会で大型宴会の受注をはじめ件数、人数が前年を上回り、売上高は前年同期比33百万円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は2,406百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

#### (レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、鉄板焼「ときわ」と中国料理「桃李」、6月にリニューアルいたしましたトップラウンジ「オリゾンテ」が好調に推移しましたが、京料理「入舟」、テラスレストラン「ベルカント」、惣菜販売を中止したカフェ「レックコート」等の売上減が影響し、売上高は前年同期比29百万円減となりました。一方、館外店舗におきましては、不採算であった「新町1888」を7月に、「オリゾンテ京都府立医大病院店」を8月に、9月には「ザ・ガーデン岡崎」を閉店いたしましたことにより、売上高は前年同期比134百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」で個室利用が順調に推移いたしました。昨年閉店した「レックコート」の売上減少をカバーしきれず、売上高は前年同期比13百万円減となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は2,256百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

#### (その他部門)

その他部門の売上高は422百万円（前年同期比14.6%減）となりました。売上減少の大きな要因は、不採算となっておりました「病院食事業」を昨年3月で撤退したことなどによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,558,169	33.5	6.0
宴会部門	2,406,297	31.5	8.9
レストラン部門	2,256,306	29.5	△7.3
その他部門	422,142	5.5	△14.6
合計	7,642,916	100.0	1.2

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ609百万円減少し、18,236百万円となりました。負債につきましては、前事業年度末に比べ628百万円減少し、16,404百万円となりました。また、純資産は前事業年度末に比べ19百万円増加し、1,832百万円となり、自己資本比率は10.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の通期業績予想につきましては、前回(平成28年8月10日)に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,359,429	1,137,913
売掛金	586,994	448,684
原材料及び貯蔵品	107,566	64,288
前払費用	44,496	52,342
その他	20,132	23,752
貸倒引当金	△708	△447
流動資産合計	2,117,911	1,726,534
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,979,708	10,686,393
構築物(純額)	72,426	62,239
機械装置及び運搬具(純額)	51,298	42,692
器具及び備品(純額)	218,858	277,395
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	164,104	193,277
有形固定資産合計	16,557,738	16,333,339
無形固定資産		
ソフトウェア	16,204	10,255
リース資産	23,473	33,096
電話加入権	4,429	4,429
商標権	416	379
無形固定資産合計	44,523	48,160
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	9,458	15,990
前払年金費用	13,227	22,934
差入保証金	81,095	68,520
その他	12,886	12,301
貸倒引当金	△1,086	△1,086
投資その他の資産合計	125,580	128,660
固定資産合計	16,727,843	16,510,160
資産合計	18,845,754	18,236,694

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	343,689	165,894
短期借入金	1,100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	10,880,420	734,852
リース債務	43,699	55,814
未払金	823,007	525,721
未払費用	211,417	92,518
未払法人税等	22,385	13,040
前受金	63,004	120,501
預り金	85,377	40,995
前受収益	47,059	59,911
賞与引当金	-	75,630
ポイント引当金	18,334	20,552
店舗閉鎖損失引当金	7,767	15,000
その他	34,830	34,113
流動負債合計	13,680,993	1,954,545
固定負債		
長期借入金	2,164,672	13,234,379
リース債務	163,182	194,505
長期末払金	46,615	182,845
役員退職慰労引当金	4,550	-
店舗閉鎖損失引当金	114,450	-
長期預り保証金	853,884	830,984
繰延税金負債	4,233	7,001
固定負債合計	3,351,587	14,449,715
負債合計	17,032,581	16,404,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	510,229	450,229
その他資本剰余金	-	60,000
資本剰余金合計	510,229	510,229
利益剰余金		
利益準備金	24,708	-
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	35,640	79,610
利益剰余金合計	60,348	79,610
自己株式	△26,329	△26,332
株主資本合計	1,813,173	1,832,432
純資産合計	1,813,173	1,832,432
負債純資産合計	18,845,754	18,236,694

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
<b>売上高</b>		
室料売上	2,281,091	2,445,257
料理売上	3,111,591	2,942,746
飲料売上	567,915	582,709
雑貨売上	388,074	418,395
その他売上	1,201,974	1,253,807
売上高合計	7,550,648	7,642,916
<b>売上原価</b>		
料理原料	967,647	876,289
飲料原料	129,048	131,398
雑貨原価	309,132	322,247
その他原価	190,936	212,369
原価合計	1,596,765	1,542,305
売上総利益	5,953,882	6,100,610
販売費及び一般管理費	5,795,759	5,736,552
営業利益	158,122	364,058
<b>営業外収益</b>		
受取利息	32	21
受取配当金	648	-
補助金収入	2,424	3,367
受取手数料	3,476	3,284
その他	6,671	4,899
営業外収益合計	13,253	11,573
<b>営業外費用</b>		
支払利息	233,554	183,833
支払手数料	31,800	51,599
その他	2,910	736
営業外費用合計	268,264	236,169
経常利益又は経常損失(△)	△96,887	139,461
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	-	327
投資有価証券売却益	35,129	-
特別利益合計	35,129	327
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	6,203	31,359
借入金中途解約損	-	29,013
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	10,650
その他	-	8,870
特別損失合計	6,203	79,893
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△67,961	59,895
法人税、住民税及び事業税	4,765	4,775
法人税等調整額	△66,672	2,767
法人税等合計	△61,907	7,543
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,054	52,352



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。